



# 小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年7月1日 第4号  
小笠原村立小笠原中学校  
校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



## 「おはよう」「さようなら」そしてチャイムのない生活

校長 椎橋 秀行

7月に入りました。1学期のまとめの月です。4日(月)から全学年で三者面談があります。1学期の様子や夏休みの過ごし方、今後の学校生活についてなど、保護者の方々とともにお話をする貴重な機会です。中でも3年生はいよいよ進路決定に向け、最初の懇談となります。中学卒業後の直近の進路だけでなく、20歳・25歳の自分を見通して「自分の夢ややりたいことは何だろう」そしてそのために、「どんな勉強を?」「どんな職業を?」という風に考えてみてください。進路実現への道は始まったばかりです。「やれること」ではなく「やりたいこと」は何なのかについて、自分と向き合ってほしいと思います。

また、21日の終業式、そして夏休みとなります。校舎の玄関や教室で交わしていた「おはよう」「さようなら」さらにチャイムのない生活が始まります。長期休みの前には、必ず「生活のリズムを乱さず」と話をしてしています。子どもと同様に大人も注意が必要です。今、始まったことではありませんが、社会全体が大人の都合で動いています。ゲームやインターネットなど24時間いつでも使えるパソコンやスマホ、決して子どもたちにとっては良い環境といえないものも少なくありません。だからこそ、子どもたちの自己管理の力も必要ですが、大人・保護者がしっかりと把握し、修正してあげることが大切だと思われま

さて、具体的な生活リズム・生活習慣については、次の3点を挙げます。

- ① 夜の眠りと朝の目覚めを大切にす。 (夕食時間、就寝・起床時間を乱さない)
- ② 運動を日常生活に取り入れる。 (何か目標を立てて体を動かす)
- ③ 日常の会話・食事を大切にす。 (家族との食事、家族との団らんを大切にす)

この3点は、お互いに関連し合い、「心と体の健康」と密接につながっています。生活リズム・生活習慣の不安定さは、精神的なイライラ感や身体的な倦怠感につながります。会話や団らんから心や体の様子や変化が見えてきます。何を今更と言われそうですが、親子ともに安心できる時であり、そこから次の会話も生まれます。こんな当たり前なことの繰り返しが、子どもに家族の絆や安心感を与えることではないでしょうか。

2学期は8月30日に始業式を迎えます。夏休みに内地に行く生徒も多いと思われま

## 生徒・教職員対象「救急救命講習」

養護教諭 野田 さくら

5月18日(水)19日(木)の2日間で、生徒は全学年が保健体育の授業で、教員は放課後の校内研修として、救急救命講習に取り組みました。

生徒は、「実践力」を身に付けることを目標に、胸骨圧迫とAEDの使い方などを中心に授業を行いました。「知識」を身に付けるとともに、もしもの時に実際に動ける「行動力」と「勇気」をもってほしいという想いを伝え、講習に取り組みました。

また、教員は、学校で起こり得る事故発生時の事例をもとに対応を検討し、それに基づいてロールプレイングを行うなど、より実践的な内容に取り組みました。素早く適切に対応することができるよう、教員も日々の研修を大事にしていま



## 第3学年「修学旅行」

第3学年主任 湯本 美樹



令和4年度の修学旅行は、5月26日（木）から6月5日（日）の10泊11日の行程で実施しました。今年は例年に比べて32人と人数も多く、大所帯での修学旅行になりました。出発前に、島内で新型コロナウイルス感染症の流行があり、全員で出発することができるか、非常に不安な日々を過ごしました。旅行中も、黙食はもちろん、いつも以上に感染対策を行い、全員が無事に島に帰ってくることができ、ホッとしています。

修学旅行の準備に関しては、生徒は2年時から行っています。京都奈良の班行動で訪れる寺社仏閣を調べてスライドにまとめたり、上級学校訪問で行く学校を調べたりしました。実行委員会では、クラスの現状を判断してルールを決めました。クラスとしての信頼度を上げるために、声掛け等も頑張ってくれました。3年生になってからは、班行動で行きたい場所を選び、バスや電車の時刻を調べて、コースを作成し、必要経費も調べました。地図を真ん中に置いて、班のみんなで話し合っている様子は本当に楽しそうでした。また、上級学校訪問で行く学校へのルートを調べました。自分1人で向かうことになるので、入念に調べている人が多かったです。

実際に始まってみると、毎日が忙しく過ぎていきました。京都奈良の班行動では、今まで見たこともないような古い建造物を見て圧倒されている人がいました。名物のスイーツを食べて満面の笑顔の人がいました。座禅体験では、何度も手を挙げて警策で打たれている人がいました。お茶体験では、手際の良さを褒めてもらっている人がいました。TGGでは、日本語を使わずに、笑顔でコミュニケーションをとっている人がいました。上級学校訪問では、迷った時には道を聞き、自分一人で学校にたどり着くことができ、自信をつけて帰ってきた人がいました。劇団四季の「アラジン」鑑賞では、終演後も鼻歌を歌っている人がいました。TDLでは、絶叫マシンが苦手でも、何度も何度もジェットコースターに乗っている人がいました。



この修学旅行では、楽しい思い出とともに、今の3年生の課題もたくさん見えてきました。実行委員長の一木さんと副委員長の老松くんを中心に有意義な話し合いもしました。やるべきことの前に、やりたいことをやってしまい、優先順位が考えられていないという課題は、ずっと言われ続けていることです。人の信頼を得るということは、簡単なことではありません。自分の不注意や配慮不足で、あっという間に失ってしまうことになるかもしれません。この修学旅行で学んだことを糧に、人として、集団として、信頼を得ることができるよう、みんなで高め合える学年であってほしいと思います。

卒業まであと半年。今当たり前にあることは、決して当たり前ではありません。仲間を大事に、それぞれが成長をし、素敵な卒業式を迎えてくれるよう願っています。

最後になりましたが、この修学旅行を行うにあたって、ご協力いただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度の修学旅行は、5月26日（木）から6月5日（日）の10泊11日の行程で実施しました。今年は例年に比べて32人と人数も多く、大所帯での修学旅行になりました。出発前に、島内で新型コロナウイルス感染症の流行があり、全員で出発することができるか、非常に不安な日々を過ごしました。旅行中も、黙食はもちろん、いつも以上に感染対策を行い、全員が無事に島に帰ってくることができ、ホッとしています。

修学旅行の準備に関しては、生徒は2年時から行っています。京都奈良の班行動で訪れる寺社仏閣を調べてスライドにまとめたり、上級学校訪問で行く学校を調べたりしました。実行委員会では、クラスの現状を判断してルールを決めました。クラスとしての信頼度を上げるために、声掛け等も頑張ってくれました。3年生になってからは、班行動で行きたい場所を選び、バスや電車の



時刻を調べて、コースを作成し、必要経費も調べました。地図を真ん中に置いて、班のみんなで話し合っている様子は本当に楽しそうでした。また、上級学校訪問で行く学校へのルートを調べました。自分1人で向かうことになるので、入念に調べている人が多かったです。

実際に始まってみると、毎日が忙しく過ぎていきました。京都奈良の班行動では、今まで見たこともないような古い建造物を見て圧倒されている人がいました。名物のスイーツを食べて満面の笑顔の人がいました。座禅体験では、何度も手を挙げて警策で打たれている人がいました。お茶体験では、手際の良さを褒めてもらっている人がいました。TGGでは、日本語を使わずに、笑顔でコミュニケーションをとっている人がいました。上級学校訪問では、迷った時には道を聞き、自分一人で学校にたどり着くことができ、自信をつけて帰ってきた人がいました。劇団四季の「アラジン」鑑賞では、終演後も鼻歌を歌っている人がいました。TDLでは、絶叫マシンが苦手でも、何度も何度もジェットコースターに乗っている人がいました。

この修学旅行では、楽しい思い出とともに、今の3年生の課題もたくさん見えてきました。実行委員長の一木さんと副委員長の老松くんを中心に有意義な話し合いもしました。やるべきことの前に、やりたいことをやってしまい、優先順位が考えられていないという課題



## 第2学年「平和学習」

### 「夜明山戦跡調査」・「欧米系島民の方の話を聞く会」 「硫黄島旧島民の方の話を聞く会」・「硫黄島訪島事業」

第2学年主任 高田 奈々

『小笠原の歴史を受け継ぐこと』をテーマに、平和学習を進めてきました。5月の夜明山戦跡調査、6月の欧米系島民の方の話を聞く会、硫黄島旧島民の方の話を聞く会を経て、6月18日（土）19日（日）に硫黄島訪島事業に参加しました。



5月13日（金）に実施した夜明山戦跡調査では、戦跡ガイド板長こと田中善八さんに講義と案内をしていただきました。調査前日の講義では、実際に使用されていたお皿や瓶などの生活用品をはじめ、銃剣や銃弾、軍服やヘルメットといった当時の戦争で用いられたもの、戦況を表した地図などを見たり触れたりしながら、当時の人々の暮らしや戦時下で起こったことを聞きました。2年生の感想の中で一番多かったのが、「模造弾」についてです。当時の日本は鉄が不足し、数合わせのために木で作られた弾が使用されていたそうです。食料だけではなく、水や物品が不足していた状況を、現実味をもって理解することができました。また、戦跡調査当日は、森の中に隠れていた送電室、壕の中に置かれたままの発電機の残骸、数百メートルにも及ぶ人の手で作られた壕、空襲によって溶けた瓶や皿の破片、境浦海岸を臨む錆びた大砲などを見学し、当時の様子をイメージしながら、兵士をはじめ、人々がどのような生活をしていたかを想像することができたようです。

6月2日（木）には、開拓時代から住む欧米系島民ナサニエル・セーボレーの子孫である瀬堀翔さんにお話を伺いました。イギリスやアメリカだけではなく、他のヨーロッパの国々やポリネシア、ミクロネシアなどからも人々が移り住んだこと、ペリーが内地に行くための拠点にしようとしたこと、戦前まで様々な民族や人種の人々が助け合って生活していたこと、戦時下の疎開先では「小笠原から来た」ということで暴力を受けるなどの辛い経験をした方々もいたことなどを聞いて、5月の板長さんの話と関連付けながら当時の状況を別の視点からも捉えることができました。



6月8日（水）には、小笠原村在住硫黄島旧島民の会会長の楠明博さんから、硫黄島に幼少期に住まわれていた楠さんのお母様が経験したことから遺骨収集についてお話をいただきました。故郷に戻ることができない方々が大勢いること、硫黄島で亡くなった方々のご遺骨がまだ1万以上残されていること、「全てのご遺骨が見付かるまでは戦争は終わらない」という言葉。「小笠原村の中学生だから見せることができる」と言っていただき、資料や写真も見せていただきました。ワークシートの記入欄には書ききれないほどのメモや感想が書かれていました。その2年生の真剣な眼差しを見て、楠さんは硫黄島訪島事業に向けて、とても心強くなったそうです。

6月18日（土）19日（日）の硫黄島訪島事業では、これまで学習してきたことと、硫黄島旧島民の会の寒川蔵雄さんからお話いただいた硫黄島の戦前の様子を合わせて洋上慰霊祭と硫黄島列島の見学に臨みました。天気は快晴。硫黄島を目の前にした洋上慰霊祭では、旧島民の方々が涙を流しながら硫黄島を見つめていました。見学後に、硫黄島での戦いと遺骨収集の現状について硫黄島協会の青木敏之さんからお話をいただき、中学生も高校生も、硫黄島を間近で見て、硫黄島に関する話を聞きながら、様々な想いが浮かんできたようです。言葉にすることが難しい、何とも言えない複雑な想いを私自身も抱えています。



今この瞬間にも世界のどこかでは戦争や紛争が起きています。この小笠原村での平和学習を通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さを実感することができました。2・3年生の学習のまとめや感想にも、「小笠原村の中学生だからこそ、平和のためにできることをしていきたい。ここで学んだことを発信していきたい。」とありました。私たち大人も平和のためにできる行動をしていこうと改めて思いました。

# 第1学年「東平外来種駆除活動」

第1学年担当 高橋 郁美

1年生は毎年、小笠原の自然学習として東平にあるサンクチュアリー「外来種駆除活動」を行っています。今年度も林野庁関東森林管理局小笠原諸島森林生態系保全センター（以下、森林生態保全センター）のご協力・ご指導の下、活動させていただきました。

この活動の目的は、小笠原の自然について理解を深めること、課題を把握し自分の考えをしっかりとつこと、外来種駆除作業を通して環境の保全について考えることです。6月9日（木）に外来種を駆除するための事前学習として、専門官の諸星雄二さんにご講義いただきました。在来種と外来種について、外来植物の利用法、外来種を駆除する理由などを学びました。そして、いよいよ10日（金）に実際に外来種を駆除するべく、東平へと向かいました。実際に植物を目の前にすると、どれが在来種でどれが外来種なのか、なかなか見分けることができず困惑していましたが、森林生態保全センターの方々が優しく丁寧に外来種を教えてくださいましたので、生徒たちは一生懸命に駆除作業に励むことができました。中には、太い木やとても硬い木をノコギリで切り倒す生徒もいました。実際に体験し、駆除活動の大変さを感じることができたようでした。

私たちが住む小笠原という素晴らしい自然について知り、そこから課題を見付け、小笠原の自然を保全するためにできることは何なのか。深く考え、行動していくことが大切なのだと体感することができた良い機会になりました。

最後に、森林生態保全センターの皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



## 7・8・9月の行事予定

### 7月

- 1日（金）安全指導 自転車安全点検  
第1回進路説明会（15:00～）
- 3日（日）英語検定
- 4日（月）生徒会朝礼 三者面談始
- 5日（火）食育講話 避難訓練
- 6日（水）お弁当の日 芝生の日 職員会議
- 7日（木）母島移動教室保護者説明会（16:00～）
- 8日（金）租税教室（3年）遠泳海練習
- 10日（日）遠泳大会（遠泳延期の際は休日）
- 11日（月）振替休業日（遠泳延期の際は授業日）
- 13日（水）校内研修
- 14日（木）セーフティ教室 SC勤務
- 16日（土）遠泳大会予備日 バレー部島しょ大会
- 17日（日）バレー部都大会
- 18日（月）海の日
- 19日（火）三者面談終 全体学活リハーサル
- 21日（木）大掃除 全体学活 終業式 SC勤務  
水泳指導終 職員会議
- 22日（金）夏季休業日始 サッカー部島しょ大会  
プール解体工事始
- 23日（土）サッカー部都大会
- 26日（火）バドミントン部都大会

### 8月

- 1日（月）校庭芝生養生期間始
- 8日（月）学校閉庁日始 電気工事（停電）始
- 11日（木）山の日
- 12日（金）学校閉庁日終 電気工事（停電）終
- 22日（月）硬式テニス部ブロック大会
- 29日（月）夏季休業日終 校内研修
- 30日（火）始業式 発育測定 自転車安全点検
- 31日（水）安全指導 職員会議  
校庭芝生養生期間終

### 9月

- 1日（木）避難訓練 SC勤務  
各種委員会・中央委員会
- 2日（金）食育講話 海洋センターボランティア
- 3日（土）土曜授業日
- 5日（月）生徒会朝礼
- 6日（火）母島移動教室（1年）始
- 7日（水）芝生の日
- 8日（木）母島移動教室（1年）終
- 10日（土）土曜授業日「いのちの授業」

※ 9月の行事予定は一部です。9月発行予定の学校だより5号で改めてお知らせします。

※ 夏休みからプールの解体工事が始まります。それに伴い、前庭側の正面玄関は使用できなくなります。学校にお越しの際は、校舎裏の駐車場側の出入口または東昇降口をご利用ください。また、通行の際には、工事の状況にご注意ください。